

プロジェクト課題No.3

# 持続的な地域営農の実現に 向けた担い手の経営安定

対象：田表機械利用組合  
(組合員11人，オペレーター3人)

計画期間：令和3年度～令和4年度

チーム員：◎熊谷，降幡，高橋，櫻田，安達

## § 背景

### ◆ 田表機械利用組合

東日本大震災の被災農地を対象にほ場整備が行われ，平成26年に組合が設立された。

現在，組合員は10名。

栽培品目は，水稻(主食用・飼料用)。

雇用されたオペレーター3人が，主に栽培管理を担っている。組合員は高齢化が進んでおり，経営継承を視野に入れた組合の将来ビジョン策定による計画的かつ安定した組織運営の実践が求められている。



## § 背景

### ◆オペレーター

オペレーター3名の内1名は、新規就農して5年目、自身の農業経営と組合のオペレーター作業を行い、将来の担い手として期待されている。

他の2名は漁業等との兼業であり、補助的な役割となっている。

専業で行っているメインオペレーターの経営が確立され、地域の担い手としての定着化が求められている。

## § 背景

### ◆野生鳥獣対策

田表地区では、野生動物による農作物被害が近年拡大している。

令和3年度に、町の支援を受け、電気柵を設置し、地域住民とも連携し、集落全体で対策に取り組んでいる。



## §ねらい

### ◆田表機械利用組合

→将来ビジョンが作成され、経営継承・営農継続に向けた計画的な組織運営が行われる。

### ◆メインオペレーター

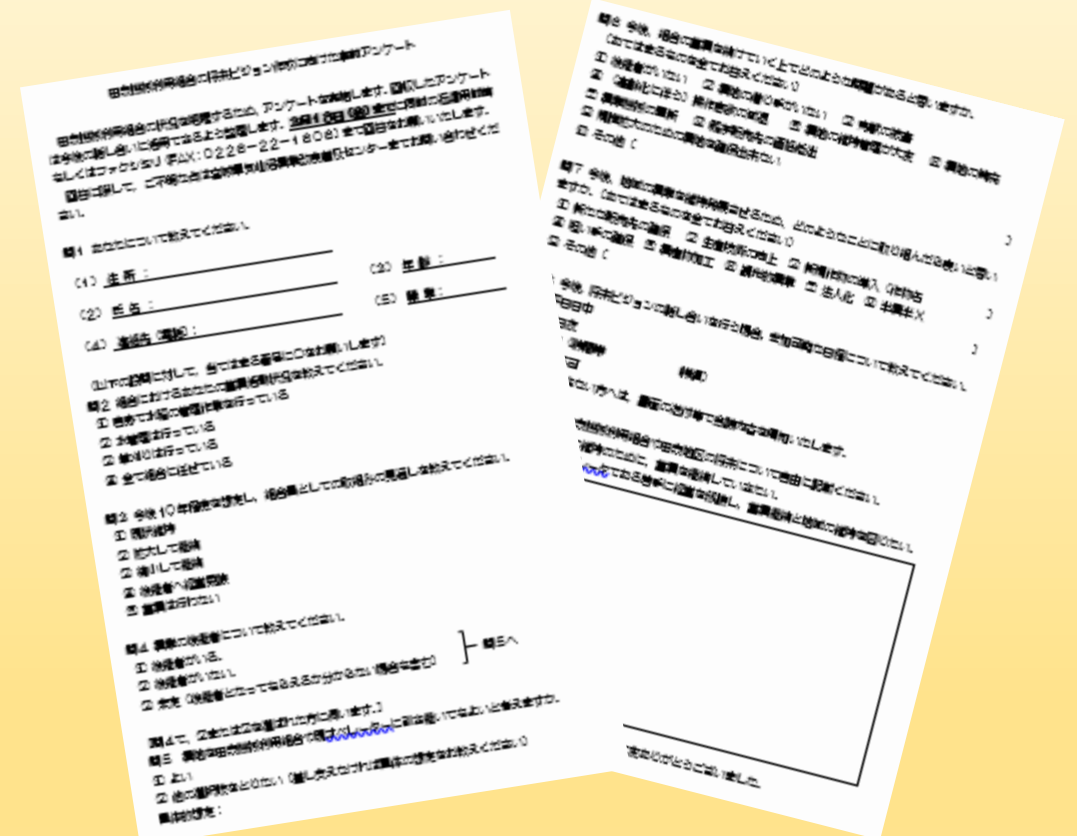
→生産技術や経営管理技術が向上し、担い手組織の後継者として定着する。

### ◆野生鳥獣対策

→地域ぐるみの野生鳥獣被害対策に取り組み、営農が継続される。

# § 田表機械利用組合への支援①

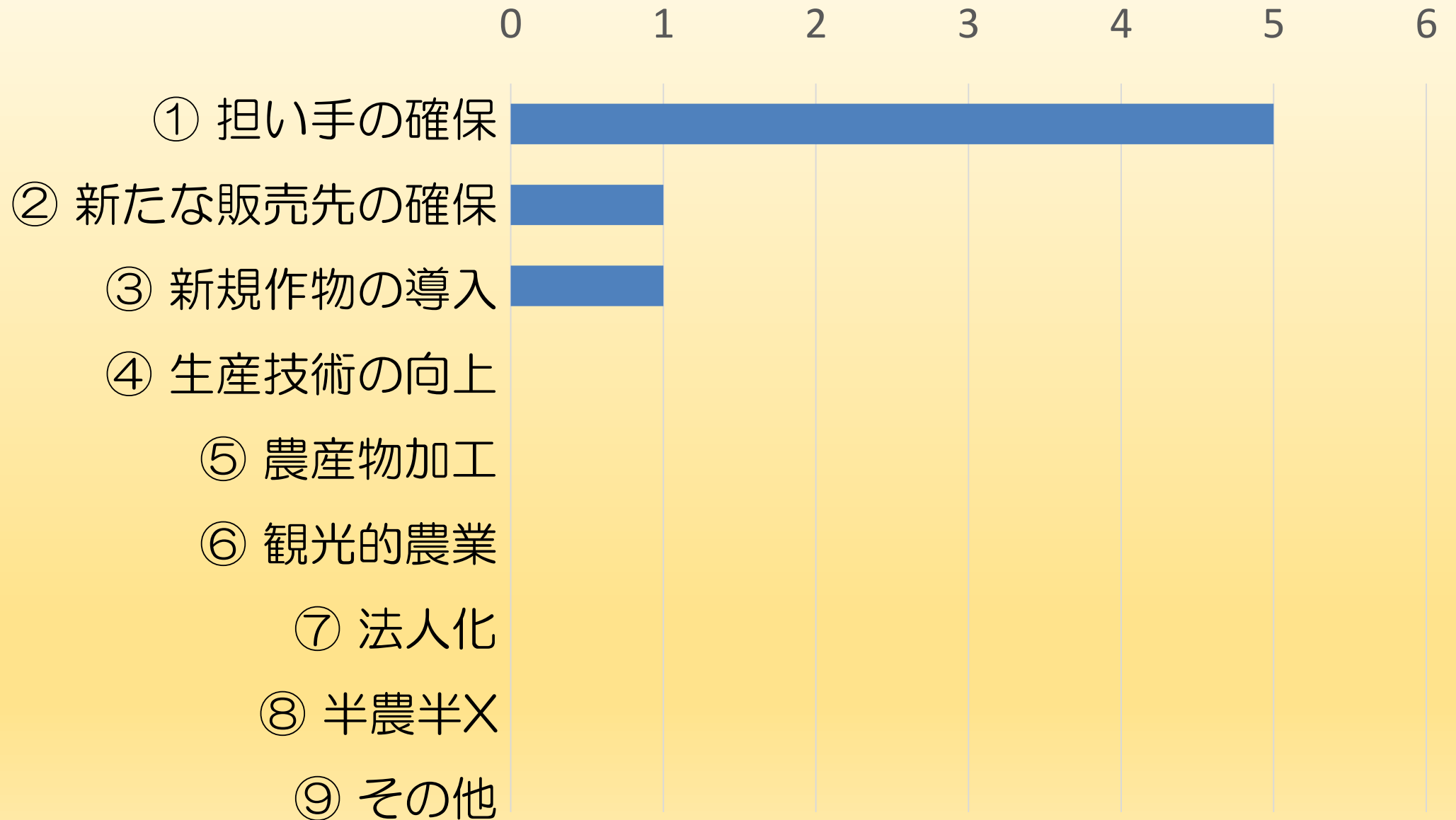
- 組合員アンケートを実施。
  - 回答率：60%(6戸/10戸)
  - 調査方法：聞き取り，郵送
  - 実施期間：令和3年2月～5月



## ■組合の営農上の問題は？(複数回答可)



# ■地域の農業を維持発展させるには？(複数回答可)





■農地を田表機械利用組合や現オペレーターに  
引き継いでもよいと考えますか？



## § 田表機械利用組合への支援②

◎アンケート結果より

● 《課題》  
後継者がいない  
農地の管理が大変  
借り手がない

● 《解決》  
担い手の確保

● 《担い手には》  
組合のオペレーター！

ビジョン  
による  
明確化！



## § メインオペレーターへの支援①

### ○園芸作物栽培技術向上支援

- ぶどう：巡回指導により，整枝，ジベレリン処理，摘粒が効率的に実施されるよう指導
- せり：栽培管理技術の指導，ハウス栽培実施に向けた助言指導
- オクラ：土壌分析結果に基づいた施肥の実施により，前年より生育は改善

栽培管理の改善が図られており，今後も継続して支援を実施



## § メインオペレーターへの支援②

### ○経営管理能力向上支援

- パソコン簿記の記帳支援
- 過去の財務諸表から資金の流れ等について解説



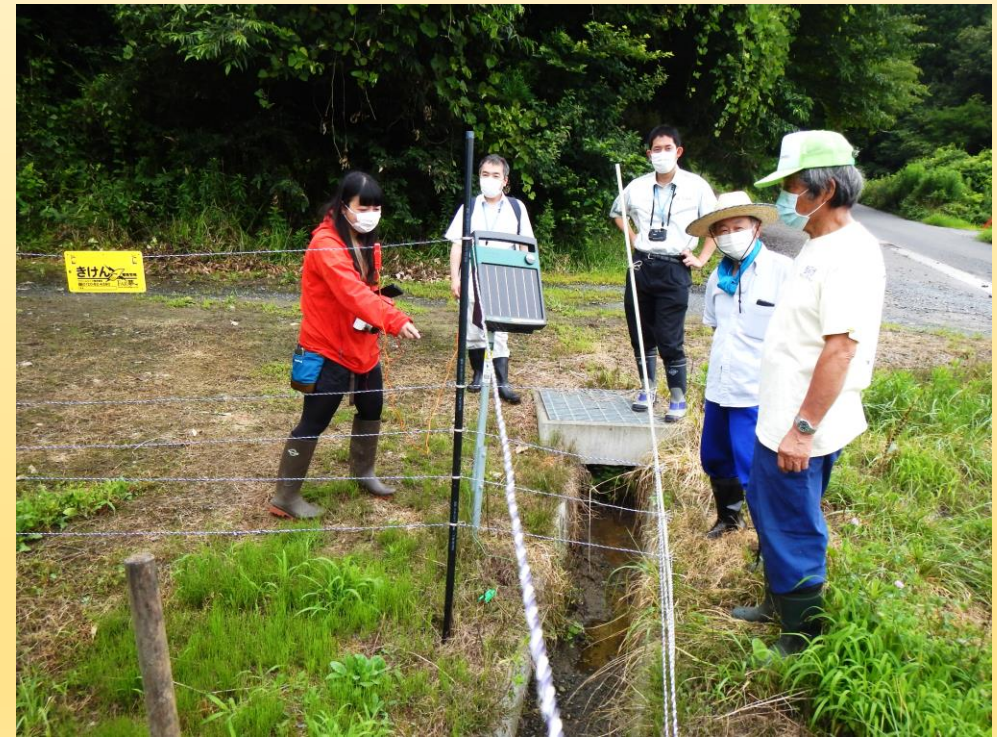
自身の経営について理解が深まった

## § 鳥獣対策への支援①

令和4年7月26日に電気柵管理研修会を実施。  
令和4年1月に設置した電気柵の管理状況を確認した。

特に、

- 電圧の低下  
下草がワイヤーに接触している。  
縦線の未設置。
- ワイヤーの設置高
- 側溝がある場所での設置方法  
等の改善点が明らかになった。



## § 成果

### ◆田表機械利用組合

→ 組合員アンケートを実施し、担い手不足という課題が有り、組合のオペレーターが将来の担い手として期待されていることが共通認識であることが明確になった。

### ◆メインオペレーター

→ ブドウやセリ等の栽培技術向上が図られ、また自身の経営についての理解も深まりました。

### ◆野生鳥獣対策

→ 電気柵の適正管理について研修し、改善に向けた意識醸成が図られた。

## § 今後の活動について

### ◆ 田表機械利用組合

→ 組合員アンケートの結果や今後行うメインオペレーターへの調査を基に、組合の将来像や担い手への承継方法等について検討し、組合ビジョンの作成を支援する。

### ◆ メインオペレーター

→ 適期作業を励行すると共に、収益性と合わせて、作付品目の絞り込みを誘導する。

### ◆ 野生鳥獣対策

→ 管理研修会の指摘事項等を役員間で共有し改善を促す。  
また、放任果樹対策について検討する。



## § 対象からの意見

アンケート等実施したことで、組合の将来について、組合員がある程度同じ認識を持っていることが分かった。組合員は漁業や他産業に従事している人もいて、なかなか集まらないが、何らかの方法でビジョン策定に向けて合意を図りたい。

(田表機械利用組合長)

組合のオペレーター作業や自分の園芸部門もあり、作業が追いついていないのは分かっているが、オペレーター作業もおろそかにできず、園芸品目も絞りすぎることによって、絞った品目がダメだったときの事を考えると、なかなか絞りきれない。

(メインオペレーター)